

グローバル・フード・バリューチェーン協議会

サウジアラビアにおける農業・水産業・食品産業の 概況及び市場について

2018年5月11日

株式会社野村総合研究所



本日本話したいこと

1

サウジアラビア王国における農水産業の概要

2

農水産業におけるサプライチェーンの概要

3

農水産業関連政策・規制の概要

4

日本企業にとっての事業機会
(インタビュー及び調査結果からの考察)

本日本話したいこと

1	サウジアラビア王国における農水産業の概要
2	農水産業におけるサプライチェーンの概要
3	農水産業関連政策・規制の概要
4	日本企業にとっての事業機会 (インタビュー及び調査結果からの考察)

サウジアラビアは、世界で最も厳格なイスラム教国の1つであり、世界第2位の産油国である。日本の5.7倍を誇る国土は、13の州に分割されている

サウジアラビア概要

サウジアラビアの自治体

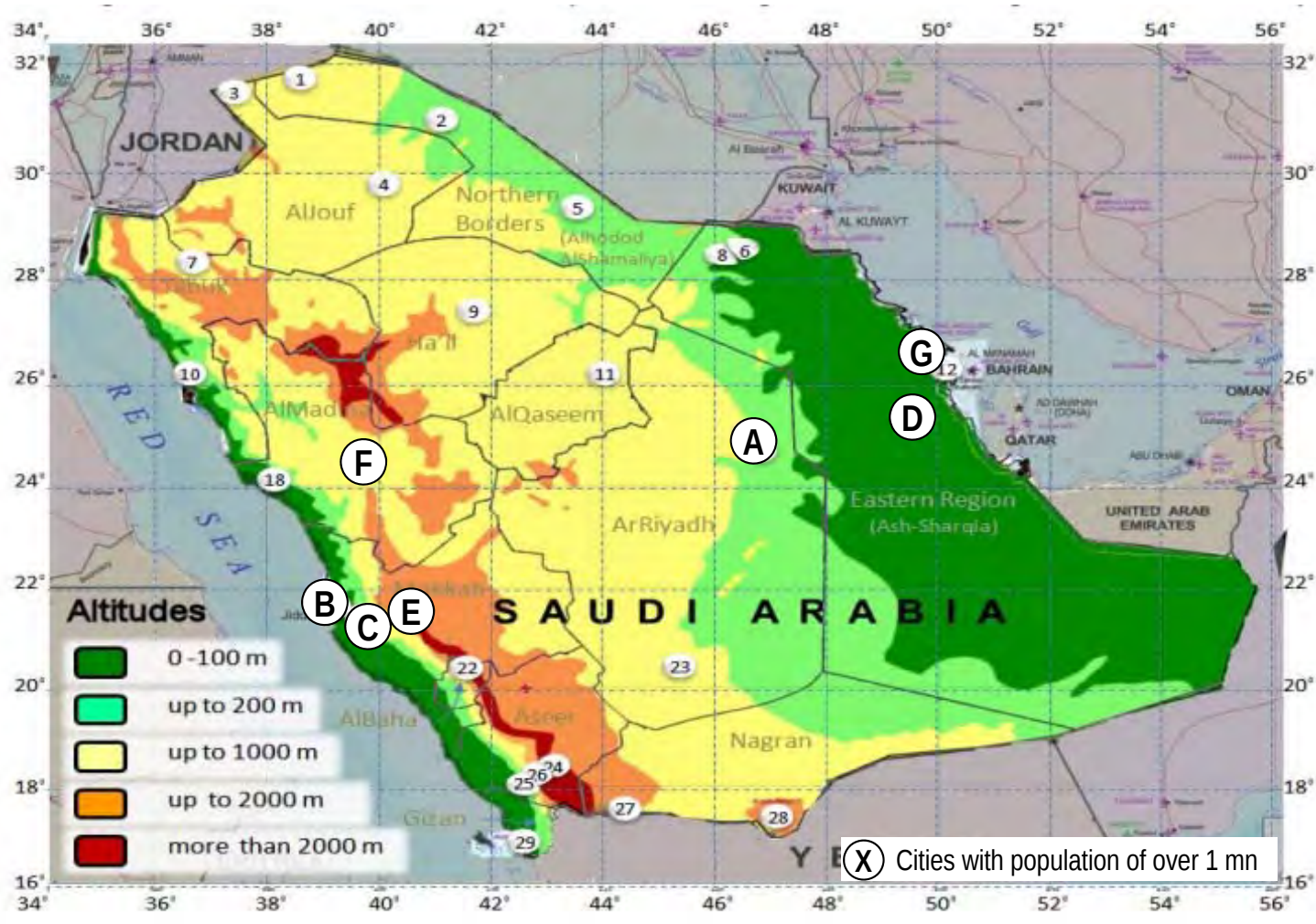


サウジアラビアの基本情報

項目	内容	出所
国教	イスラム教	—
民族	アラブ人	外務省
言語	アラビア語(公用語)	
統治形態	君主制 国王:サルマン・ビン・アブドルアジズ・アル・サ우드(第7代) 皇太子:ムハンマド・ビン・サルマン・ビン・アブドルアジズ・アル・サ우드	
国土	215万平方km(日本の5.7倍)	SAMA (2016)
首都	リヤド	
人口	3,179万人(内、外国人1,171万人)	IMF "World Economic Outlook Database" (Oct 2017)
GDP	6,464億米ドル(2016)	
国民1人あたりGDP	20,365米ドル(2016)	BP統計 (2017)
石油生産量	1,235万バレル/日(2016)・世界シェア13.0%、世界2位	

3160万人(2015年)の人口を持つサウジアラビアは、GCC地域の中で最大の消費者市場の一つ

主要都市の位置と人口



Top 10 Cities

City	Population
① Riyadh	7,125,180
② Jeddah	3,976,000
③ Mecca	1,675,368
④ Hofuf	1,500,000
⑤ Ta'if	1,281,613
⑥ Medina	1,180,770
⑦ Dammam	1,033,597
Khobar	941,358
Khamis Mushait	713,000
Buraidah	614,093

- 人口の60%以上が人口数上位10都市に住む
- ほとんどの経済活動が国の西側・東側沿いに集中している

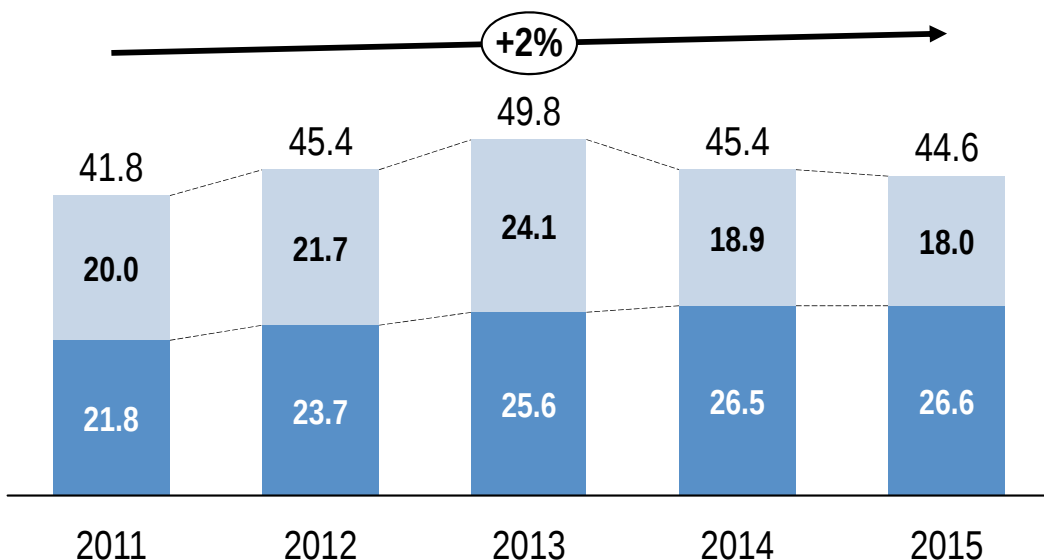
サウジアラビアは食料需要の80%以上を輸入に依存

輸入の概観

- サウジアラビアは国内の食料需要を主に輸入で満たしており、今後もその傾向は続くと見られる
- サウジアラビアへの主要な輸入品目は穀物、乳製品、冷凍ブロイラー、新鮮な果実や野菜である

全食料・農業輸入額 (10億ドル)

加工食品輸入
未加工食品輸入



Source: Arab Agricultural Statistics 2016

主な食料・農業輸入相手国 (2014)

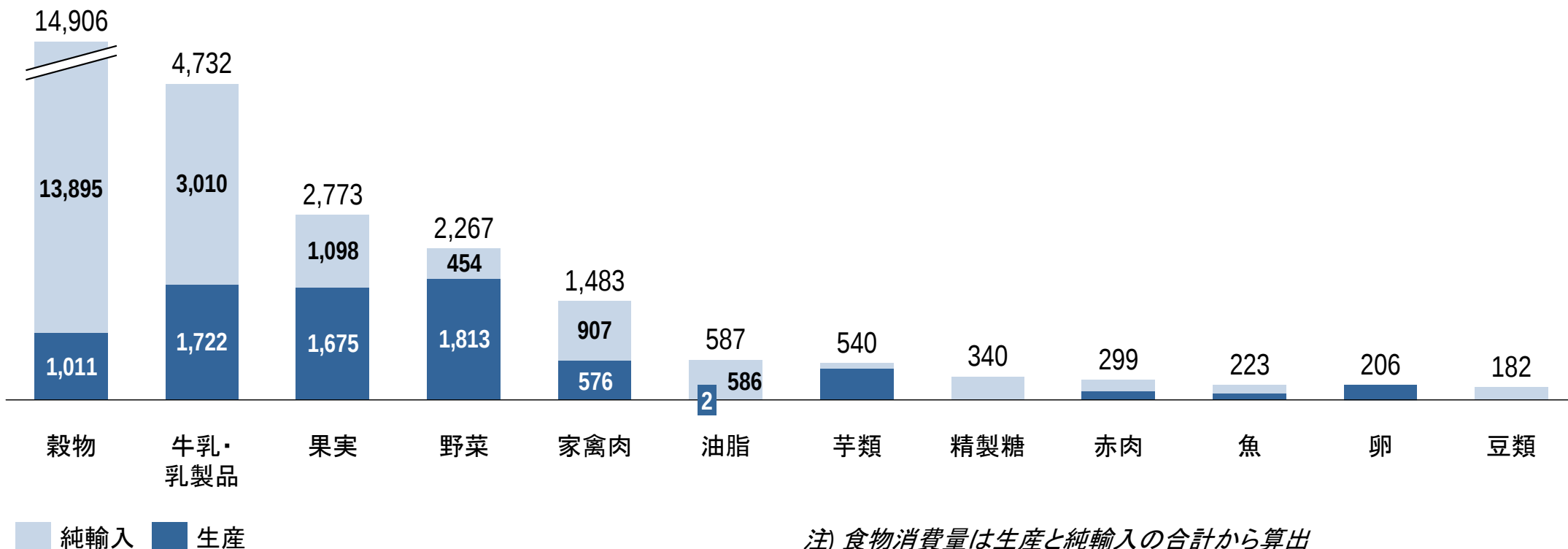
国	主要品目 (全生産量に対する割合)
ブラジル	冷凍ブロイラー (81%)
インド	牛肉 (50%), 生果実 (8%), 生野菜 (5%), 香辛料 (32%), 種実類 (34%), 果実加工品 (23%)
オランダ	乳製品 (9%), 野菜加工品 (17%), 牛肉 (5%), スナック菓子 (6%), 生野菜 (8%)
中国	野菜加工品 (10%), スナック菓子 (9%), 生野菜 (12%), 香辛料 (17%), 種実類 (3%), 果実加工品 (11%)
タイ	果実加工品 (8%), 魚介類 (32%)
エジプト	生野菜 (32%), 野菜加工品 (14%), 果実加工品 (7%), 調味料・ソース (4%), 生果実 (20%)
フランス	冷凍ブロイラー (15%), 乳製品 (7%)
NZ	乳製品 (26%), 牛肉 (5%)
(参考) 日本	魚類缶詰、清涼飲料、菓子 (米菓除く)

最も消費されている食物群のうち、穀物・乳製品・家禽類の輸入比率が高い一方、野菜・果実は国内生産比率が高い

食物消費

- サウジアラビアで最も消費されている食品群である穀物類は、小麦・小麦粉(380万トン)、大麦(650万トン)、トウモロコシ(280万トン)、米(160万トン)を含む

2015年の食物消費量 (千トン)



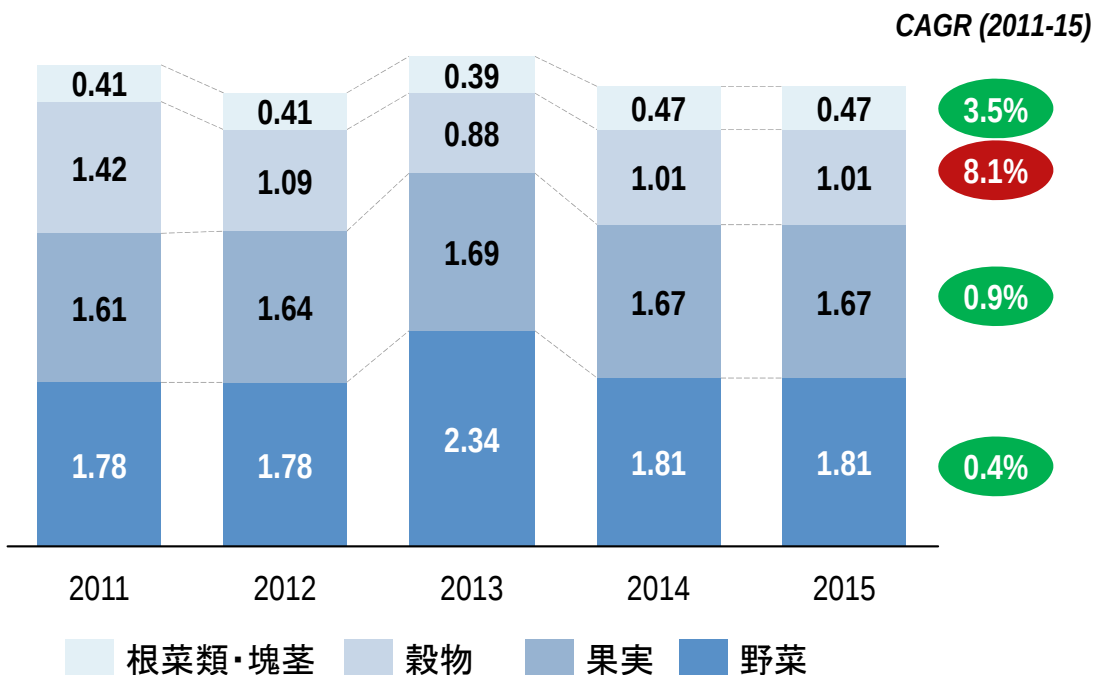
注) 食物消費量は生産と純輸入の合計から算出

農作物の生産に関しては、青果物が全農作物生産の約50%を占める

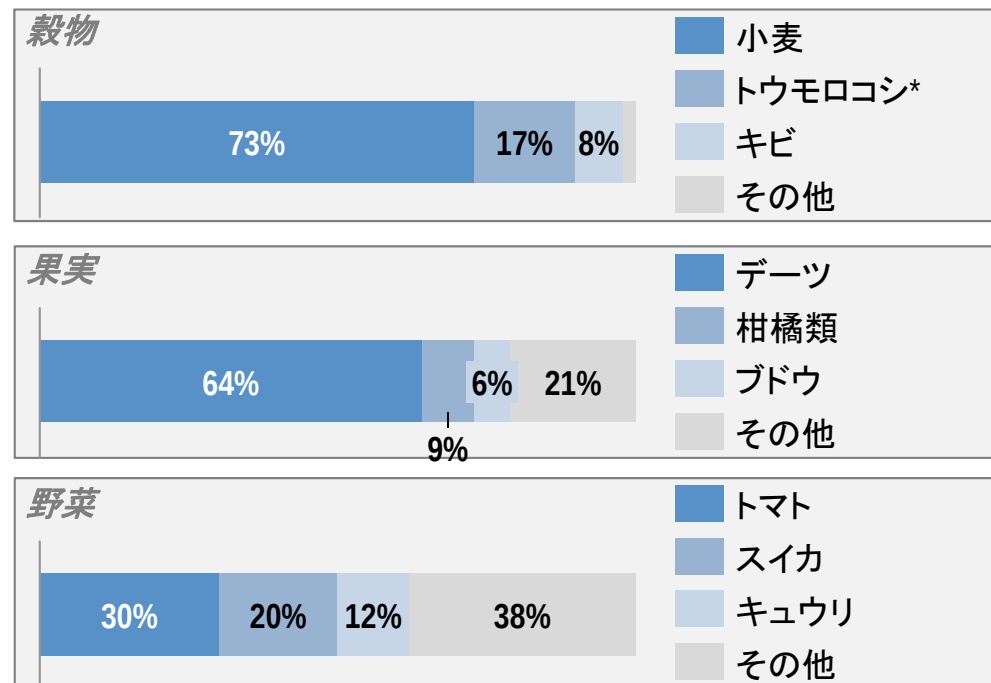
農作物

- サウジアラビア政府が大量の水を必要とする農業生産を抑制したため、穀物生産は低下した
- 特に小麦生産は使用する水資源の枯渇を懸念し、2016/2017から国内生産ではなく輸入による調達へ転換を図っている

主な農作物群の生産量の推移
(百万トン)



各農産物群の上位3品目



* モロコシを含む

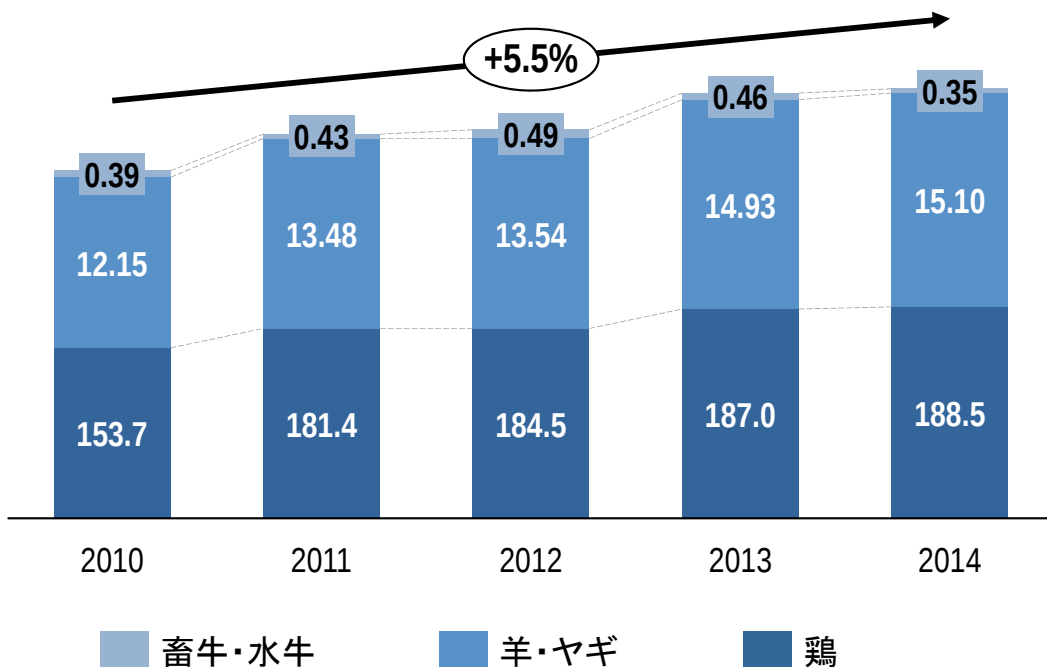
Source: Arab Agricultural Statistics 2016

畜産分野では生産額と家畜の頭数は共に増加

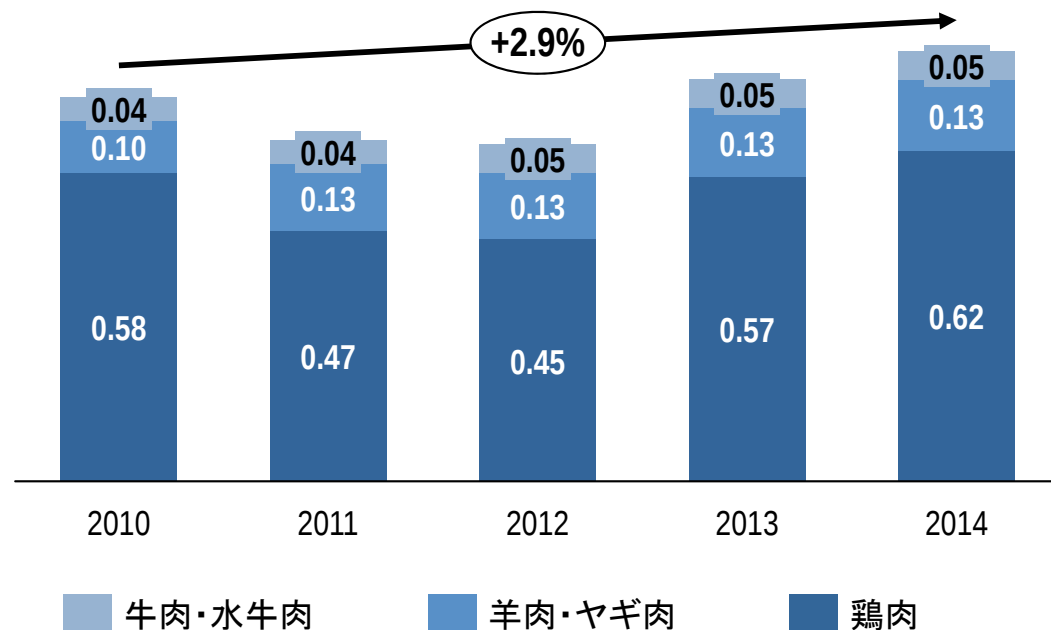
畜産物（家畜と肉の生産）

- サウジアラビアで生産された肉の60%以上が鶏肉であり、次いで羊肉やヤギ肉などの赤肉が多い

家畜の頭数 (百万頭・羽)



肉の生産量 (百万トン)

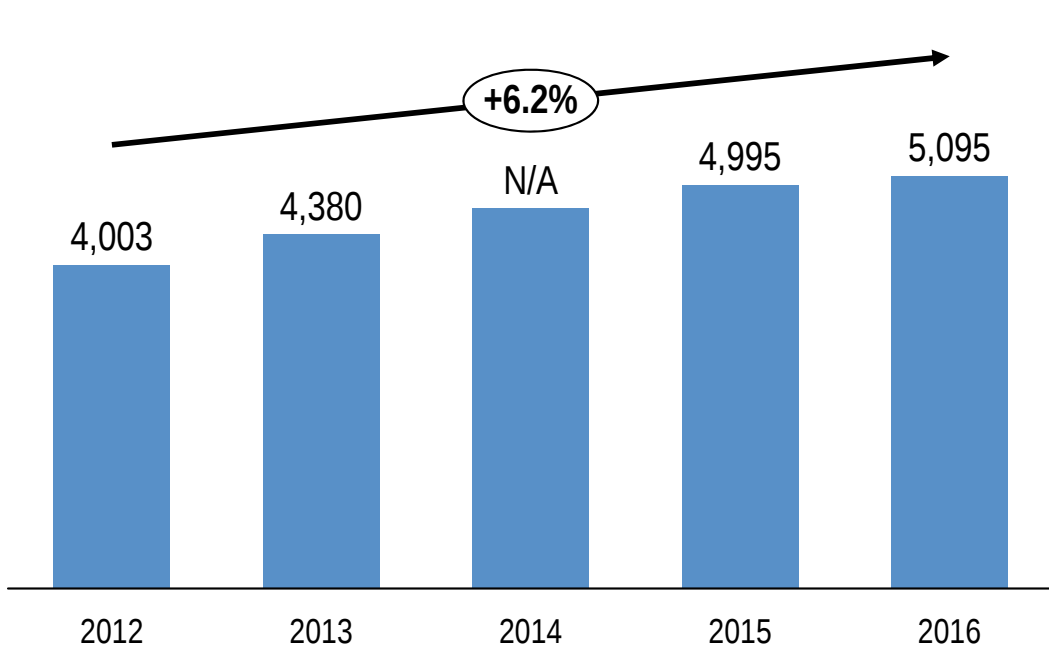


特に卵や乳製品といった高タンパク食品は、生産が増加しており一部輸出も実施

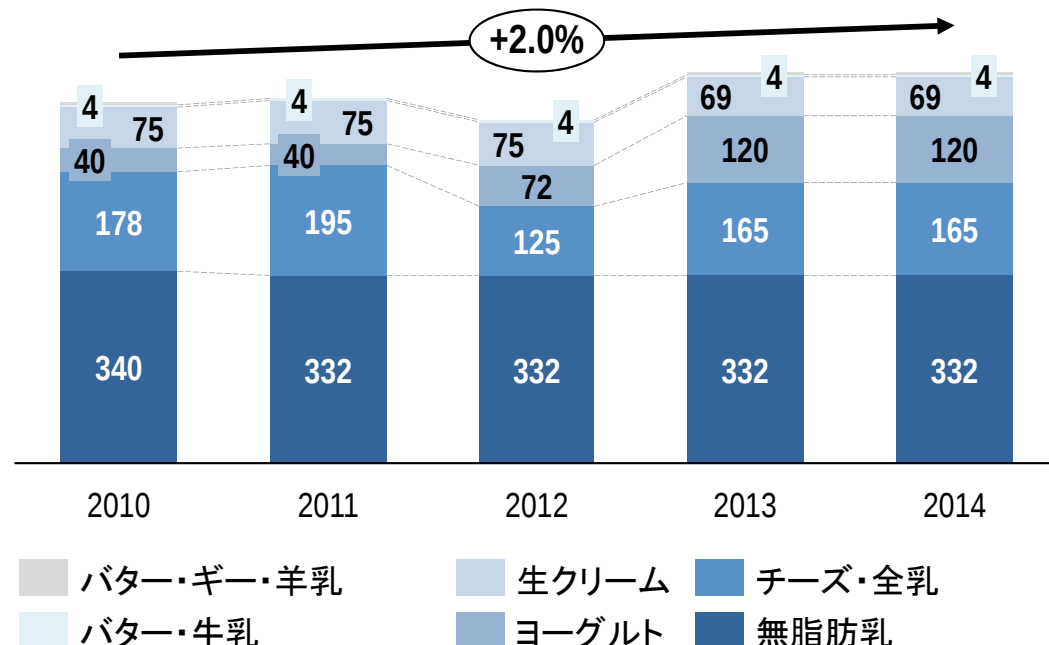
畜産物(卵・乳製品)

- 卵の生産量は年率6%で成長しており、輸出も行っている

卵の生産量 (百万個)



乳製品の生産量 (千トン)



サウジアラビアは、紅海とアラビア湾沿いに2,500kmを超える海岸線を持ち、伝統的な水産業と産業的な水産業の両方が行われている

水産業 – 資源



A 紅海

- 2,000kmを超える珊瑚礁に1,200種以上が生息している
- 南では約3.6%、北では約4.1%の高塩度
- 海岸沿いでは8,000から10,000の漁船が活動
- 伝統漁業は手釣りや刺し網に依存する一方で、産業漁業は魚や小エビにトロール網を活用
- 乱獲、下水による汚染、海岸浸食、地球温暖化などの理由により、紅海の魚資源の減少の兆候が見られる

アラビア湾

B

- 海岸線は580kmを超え、約4.5%の高塩度
- 海岸沿いでは600以上の漁船が活動している
- バラスト水の排出、温暖な海水により域外海洋生物の繁殖が懸念されている
- 養殖に対してはネガティブな意見が多いとされている

一方、直近5年間で漁業の生産量は減少し、養殖業の生産量は停滞

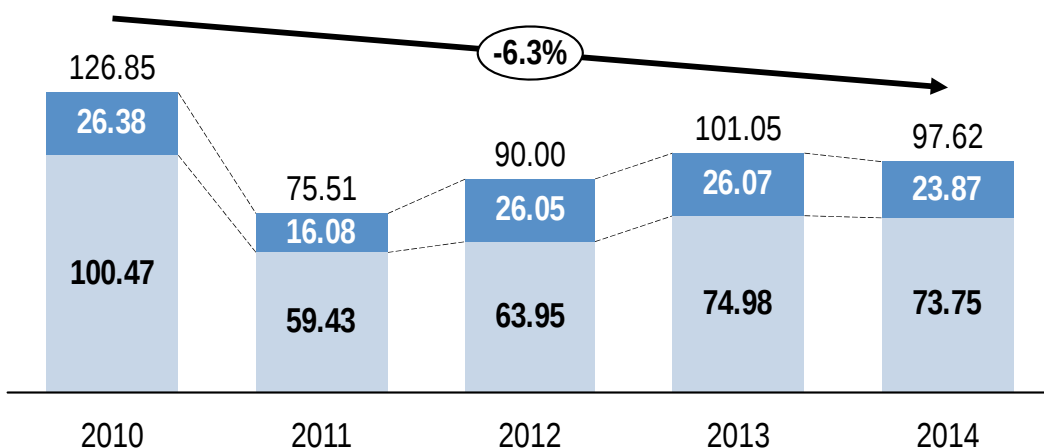
水産業 - 生産

- 水産業はサウジアラビア経済にとって重要だが、魚資源の減少や技術進歩の遅れ、限られたインフラなどのせいで生産量は減少している

魚の生産量 (千トン)

■ 養殖業
■ 漁業

- 紅海の魚資源の減少や漁業の限られた労働力のせいで、捕獲による魚の生産は減少している
- 限定的なインフラ投資により、養殖業の生産は停滞したままである



在来種



アジ



ハタ



タイ

回遊性魚種



サワラ



グルクマ



スマ

養殖魚種



バラマンディ



ナマズ



エビ

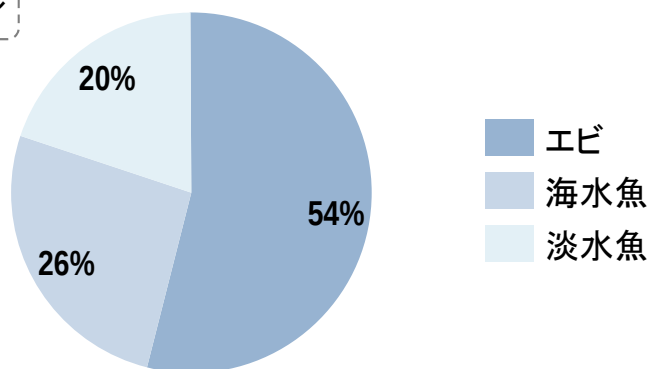
養殖業はサウジアラビアにとって優先的な投資領域の一つ

水産業 - 養殖業

- 安定的な人口増加により、2025年には魚の需要が約28万6千トンに達すると予想される
- 農業省は15年間で60万トンの魚を生産するために養殖プロジェクトに106億ドルを投資した

2014年の養殖業の生産内訳

合計 - 23,870トン



- 米国・欧州・日本をはじめとする国際市場からの高い需要や、成長する国内の海産食品の需要により、養殖業の生産の半分以上がエビの養殖となっている

生産方法



屋内養殖システム (Indoor Aquaculture System)

- 陸上再循環養殖システム (Land based Recirculating Aquaculture Systems, RAS)
- 沿岸の広大な土地が活用され得る



沖合いけす養殖 (Cage Culture System)

- Open Cage Systemsは海洋種の養殖に用いられる
- 海岸から最短で5kmの場所に位置
- 紅海の汚染が問題点に

サウジアラビアの養殖事業は紅海が主要エリア

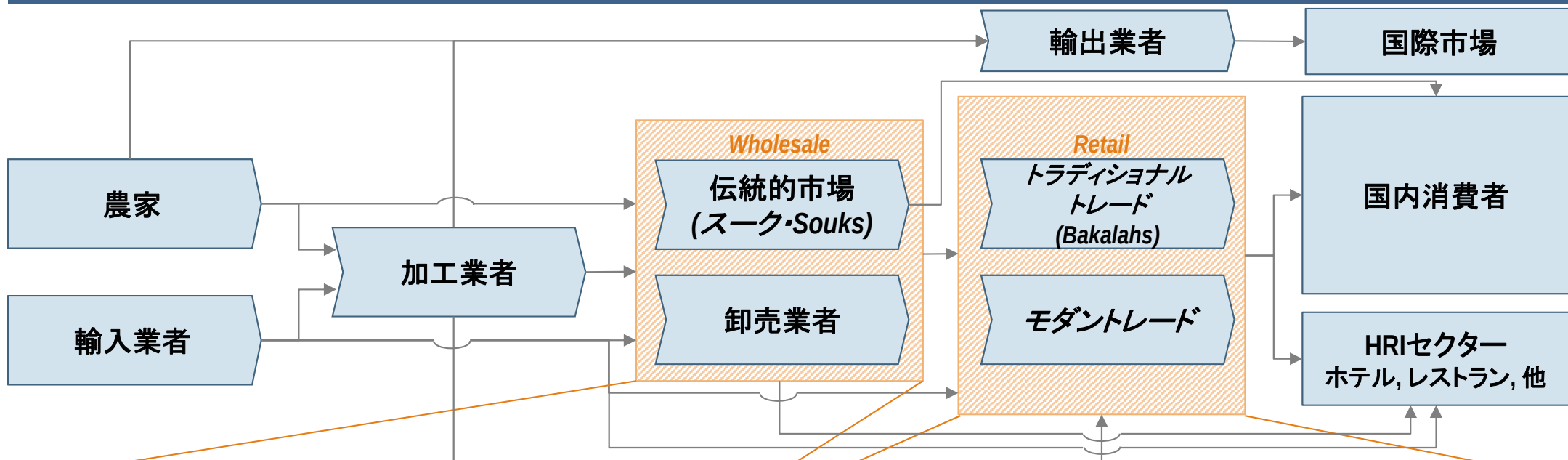
水産業 - 養殖関連企業

企業名	概要	主な魚種	生産量等	その他
National Aquaculture Group	エビ養殖を行うサウジアラビア最大の企業	エビ、バラマンディ、海藻、ナマコ等	輸出量: 15,000トン/年	エビ養殖施設 (Jeddha及びAl-lith)、沖合養殖ケージ
Saudi Fisheries Company	サウジアラビア政府が40%を保有するアラビア湾側にも養殖場を有している	エビ、バラマンディ、イカ等	生産量: 1,500トン/年 (2011時点)	エビの天ぷら、エビ・白身魚フライ、バーガー等の加工製品製造施設を保有
Arabian Shrimp Company	エビの養殖プロジェクトの実行主体として設立された企業体	エビ	-	Jizan北部沿岸で7,500haの土地のリース契約を締結 オマーンにも養殖場を所有
Asmak	HACCPの他、EU、FDAからの輸出許可も取得 サウジアラビアの他、UAE、バーレーン、オマーンにも拠点を持つ 中東を主な市場として、鮮魚、冷凍魚等を輸出 (ヨルダン、エジプト、UAE等)	タイ、ティラピア、バラマンディ	-	海上いけす (メディナ西部) Arascoから養殖飼料を調達、稚魚はギリシャ・トルコから調達
Tabk Fisheries Comany	有力ハイパーマーケットであるカルフル等と提携	タイ、スズキ、イカ	生産量: 2,000トン/年	タブーク (Tabuk) に養殖拠点を構える 直径40~60mの海上いけすのほか、ふ化場も有する

1	サウジアラビア王国における農水産業の概要
2	農水産業におけるサプライチェーンの概要
3	農水産業関連政策・規制の概要
4	日本企業にとっての事業機会 (インタビュー及び調査結果からの考察)

サウジアラビアの輸入業者は伝統的な市場(スーク)、卸売業者、または小売業者に食品素材や加工食品を販売する

サウジアラビアの食料サプライチェーン



- スーク(Souks)は伝統的な卸市場で「オープンな」食品素材や「パッケージ」食品が販売される
- 食品輸入業者のほとんどはこのようなスーク(souks)で商品を販売

Najran Old Souk, Saudi Arabia



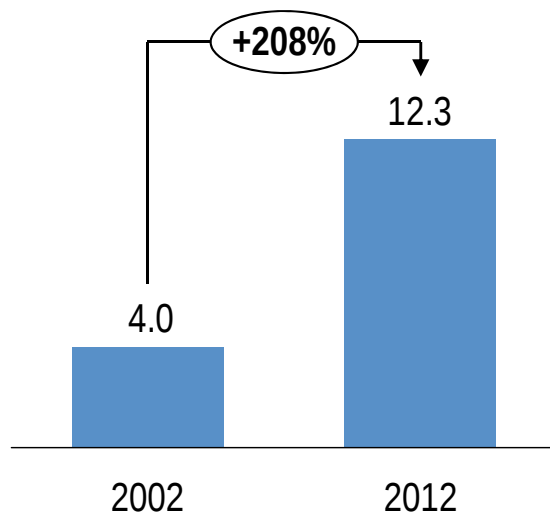
- ハイパーマーケットやスーパーマーケットを含むモダントレードはサウジアラビアの全主要都市に広がる
- トラディショナルトレードは小さな食料品店を指し、bakalaとも呼ばれる

サウジアラビアにおける食品加工産業は過去10年で大幅に成長している

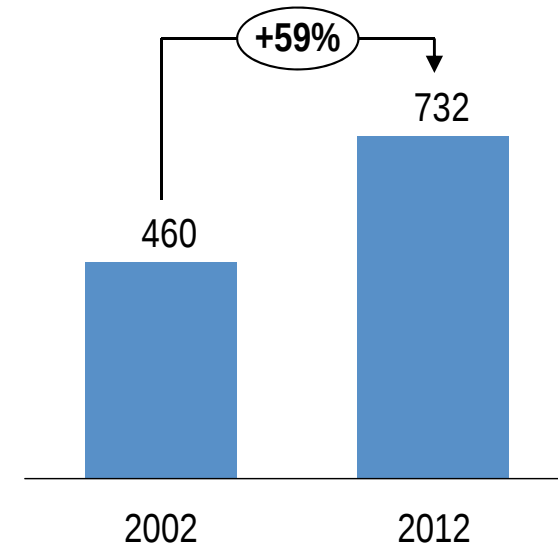
食品加工の現状

- サウジアラビアの食品加工産業は、政府による補助金等の支援や、加工食品に対する需要の高まりにより成長している
 - GCC各国やサウジアラビア国内で食の利便性や栄養価の高い食品への関心も拡大している

国内食品加工産業への投資額 (USD bn)



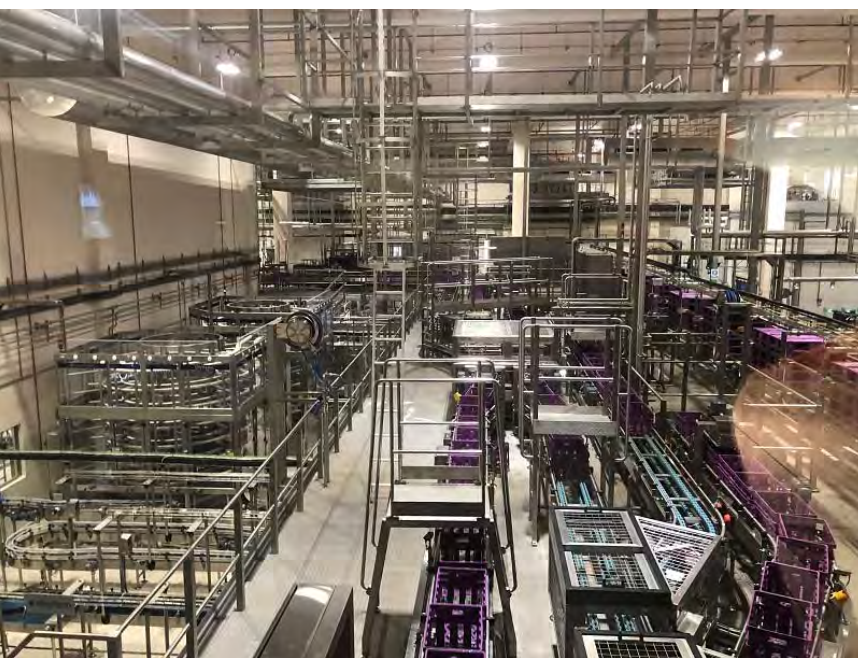
国内の食品加工工場の数



加工食品メーカー例

サウジアラビアの加工食品会社シェア上位を占める会社

		(単位: %)				
加工食品会社名		2012	2013	2014	2015	2016
乳業	Almarai Co Ltd	8.04	8.45	8.64	8.79	8.9
	Mars GCC	2.96	3.07	3.17	3.28	3.36
	Al Muhaidib Grains Co	2.81	2.81	2.81	2.77	2.71
	Al Safi Danone Ltd	2.47	2.48	2.47	2.48	2.42
	Saudi Food Industries Co Ltd	2.19	2.18	2.19	2.18	2.31
	Nestlé SA	2.08	2.1	2.09	2.15	2.2
	Saudi Snack Foods Co	1.99	2	2.09	2.13	2.16
	Saudi Dairy & Foodstuff Co Ltd (SADAFSCO)	1.91	1.94	1.94	1.96	1.97
	Mondelez Eastern Europe, Middle East & Africa FZE	1.69	1.74	1.79	1.83	1.81
	Saudi Vegetable Oil & Ghee Co (SAVOLA)	1.54	1.64	1.75	1.78	1.78
	National Agricultural Development Co (NADEC)	1.32	1.32	1.33	1.34	1.35
	National Food Industries Co Ltd	1.45	1.43	1.42	1.31	1.3
	Saleh Abdulaziz Babaker	1.21	1.2	1.21	1.19	1.16
	Basamh Trading Co	1.15	1.13	1.14	1.14	1.15
	Deemah - United Food Industries Corp Ltd	1.1	1.09	1.08	1.09	1.08
	National Biscuits & Confectionery Co Ltd	0.88	0.89	0.94	0.98	1.04



ハイパーマーケットやスーパーマーケットは予想される小売での海外投資により、サウジアラビアで一層浸透していくことが見込まれる

サウジアラビアの食品小売業者

小売業者の種類

詳細

規模

店舗数

食品売上*



ハイパー マーケット

- ハイパーマーケットは食品、衣料品、工具、電化製品など5万品目以上を扱う小さなモールで、2004年にサウジアラビアに導入された

18,000平方
メートル
以上

432

83億ドル
(20%)



スーパー マーケット

- スーパーマーケットはより小規模で、包括的な食品と、ベーカリー、冷凍・冷蔵食品や非食品範囲などその他の商品を扱う

500-5,000
平方メート
ル

736

149億ドル
(36%)



小型 食料品店 (bakalahs)

- 小型食料品店はサウジアラビアのほぼ全ての地域にあり、ほとんどの商品を限られた流通業者から調達する

最大100平
方メートル

36,787

181億ドル
(44%)

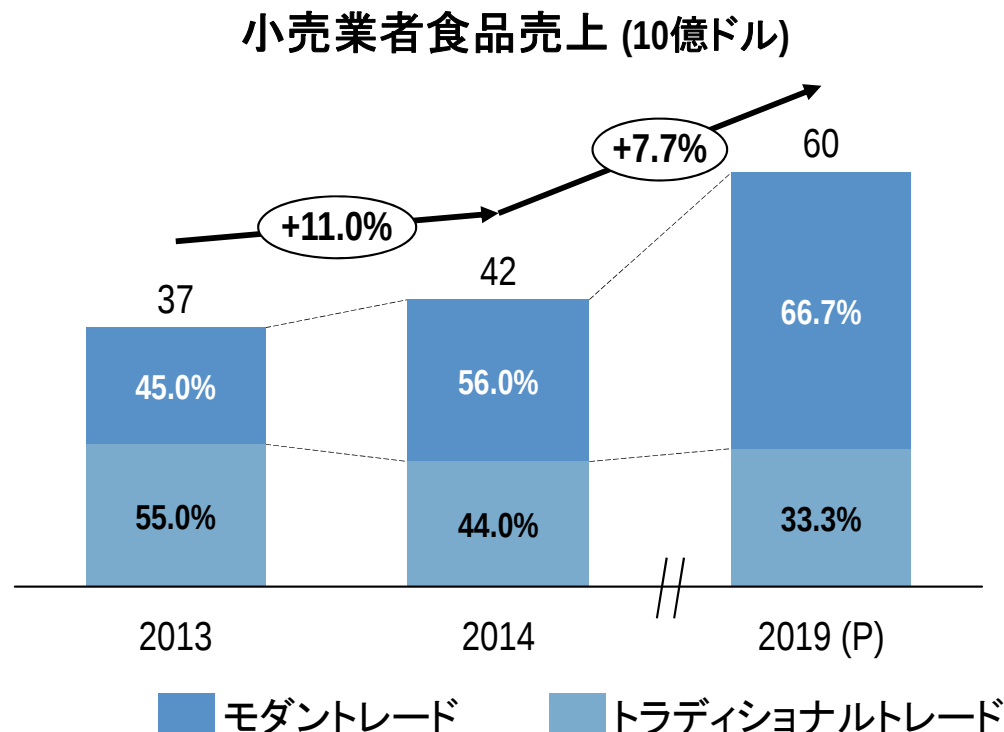
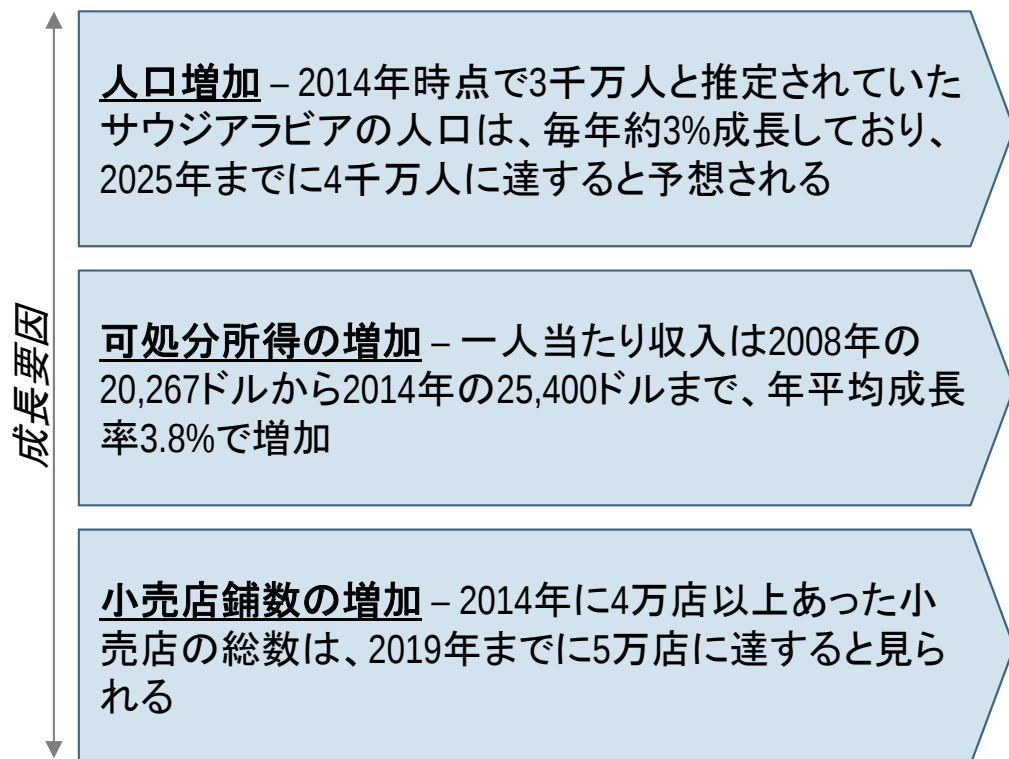
注) 全ての数値は2014年の値を使用

* シェアは全小売食品売上に対する割合

小売業者を通じた食品売上は2019年までに600億ドルに達する見込み

小売業者食品売上

- サウジアラビアの小売業食品売上は、人口増加による需要拡大と小売インフラにおける供給プッシュにより、年平均成長率7%以上で増加することが予想される
- モダントレードへの継続的な投資により、トラディショナルトレードのシェアは2014年の44%からさらに減衰すると見られる



サウジアラビアの食品産業のトレンドは人口統計やライフスタイルの変化、西洋化に左右される

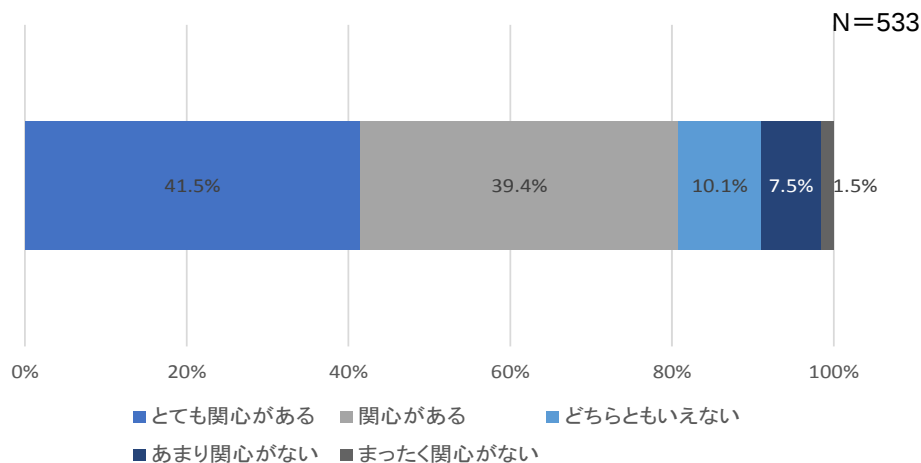
市場トレンド

トレンド	詳細	影響
肉及び乳製品の消費高	炭水化物からタンパク質ベースの食事へシフト。主に価格競争力のある家禽肉と用途の多い乳製品である	肉及び乳製品部門の食品加工の需要高
ベビーフード需要の増大	- サウジアラビアは出生率が高く、乳幼児人口が増大 - ベビーフード需要の年平均成長率は9.8%	主なベビーフードの輸入
調理食品需要の増大	労働女性の増加や西洋化によって調理済み食品が好まれる	国際企業にとっての潜在的可能性
健康食品への急速なシフト	肥満やセリアック病、糖尿病への懸念の増加により、新鮮果物やフルーツジュース等健康食品への選好が高まる	特別栄養食品の必要性増
食品サービス産業の需要増	サウジアラビアでは外食や出前が増加しており、食品サービス産業の需要が高まる	地元のサービス産業にとって食品加工の潜在可能性
国際料理の需要増加	- 若年層の西洋化 - 巡礼者や観光客の増加	国際的食品企業のビジネスチャンス

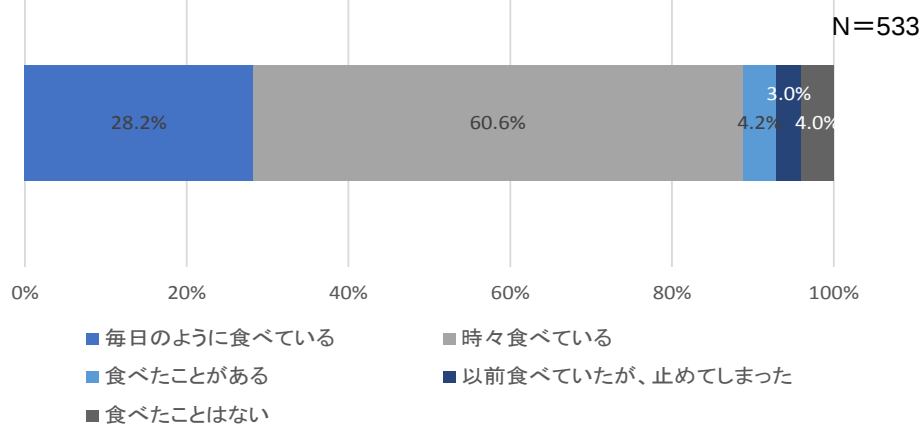
サウジアラビアでは健康食品の利用頻度が比較的高いこと、 また、特にダイエット効果のあるものへの関心が高い様子

健康食品に関するアンケートの結果

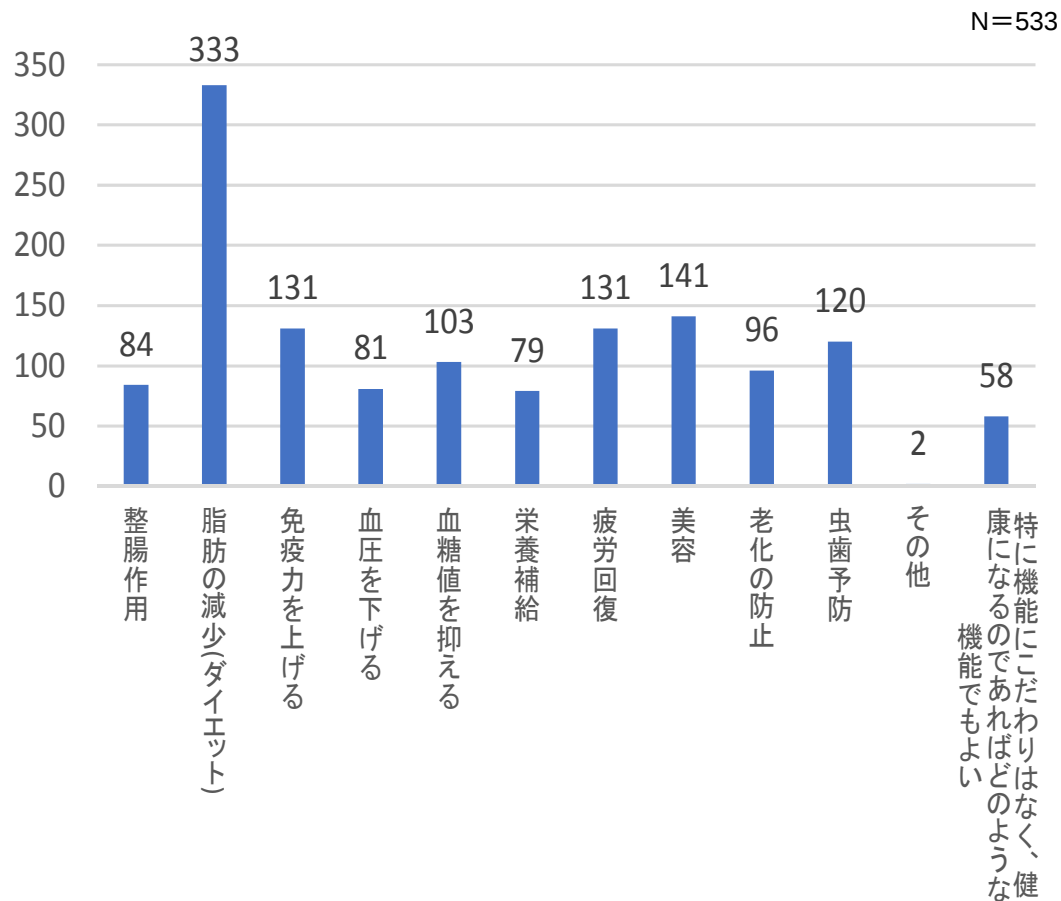
Q あなたは、健康食品に関心がありますか。



Q あなたは、健康食品を日常的に利用していますか。



Q あなたは、どのような機能を持つ健康食品に興味がありますか。[複数回答]



人口増加によって、食品全体の消費量は増加。特に乳製品と肉は急成長する部門である

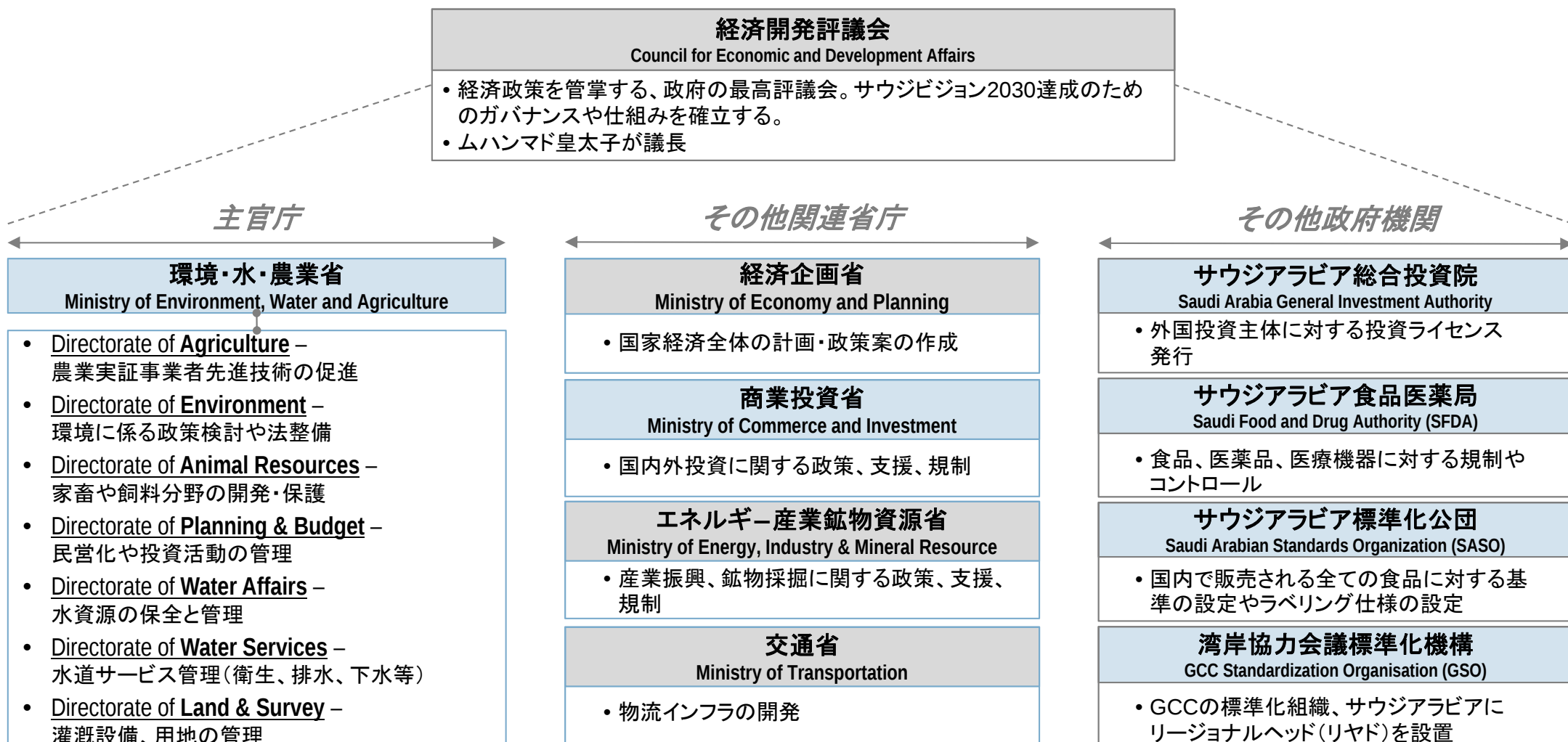
成長セグメント

セグメント	成長要因	データ
穀物	- 人口増加によって小麦や大麦など基本食品の需要が継続的に増加する - 穀物生産に使用する水資源枯渇への懸念等により、穀物消費の90%は輸入によって賄われている	- サウジアラビアの人口は2030年までに3910万人に上る(2015年時点の24.1%増) 2015/16年のサウジの小麦生産量は337万トンと推定。ただし、2016/2017には小麦生産は事実上停止
青果物	- 健康食品へのシフトは新鮮野菜や果物の消費需要に繋がる - ハイパーマーケットやスーパーマーケット等の小売りは野菜や果物の加工品の種類を増やす	野菜と果物の消費量は、年平均成長率4.8%で7,574('000トン)増加している
乳製品	- 健康食品やたんぱく質ベースの食事へのシフト - 新鮮な白乳やラバン、チーズやヨーグルト等の乳製品やベーカリー製品が人気である	サウジアラビアはGCC(湾岸協力会議)で最大の乳製品市場であり、全体の74%を占める
肉	- 可処分所得の増加が、肉製品、特に加工冷凍肉へのシフトの重要な要因の一つである - 炭水化物からタンパク質ベースの食事へのシフト	- サウジアラビアの一人当たり収入は2004年の10784ドルから2013年には25000ドルと倍増した - 肉の消費量は年平均成長率6.2%で増加している
水産物	- サウジアラビアは栄養価の観点からシーフード需要が増加している - 生産量が制限されており、需要の50%がコストのかかる輸入品で調達されている	- 魚の需要は2025年に286('000トン)増加予測 - 生産量は主に水産養殖によって2018年までに9%-18%増加すると予測される - 政府は2030年までに水産養殖に106億ドル投資する

1	サウジアラビア王国における農水産業の概要
2	農水産業におけるサプライチェーンの概要
3	農水産業関連政策・規制の概要
4	日本企業にとっての事業機会 (インタビュー及び調査結果からの考察)

サウジアラビアにおける農水産業関連組織は以下の通り

主要ステークホルダー



サウジビジョン2030は、経済、社会、国家の発展という三つの柱に基づく サウジアラビアの経済改革に向けたビジョン

経済開発の目標

グローバルランキング

- 世界第19位から世界第15位の経済規模の国家になる
- 国際競争力指数(GCI)において25位から10位に入る
- 物流効率指数(LPI)において49位から25位に入る

投資 / 産業活動

- 公的投資基金(PIF)の資産を6000億リヤールから7兆リヤールに増やす
- 海外直接投資を対GDP比3.8%から5.7%に上げる
- 民間部門の貢献の割合を対GDP比40%から65%に上げる
- 非石油製品の輸出の割合を対GDP比16%から50%に上げる

国内参加

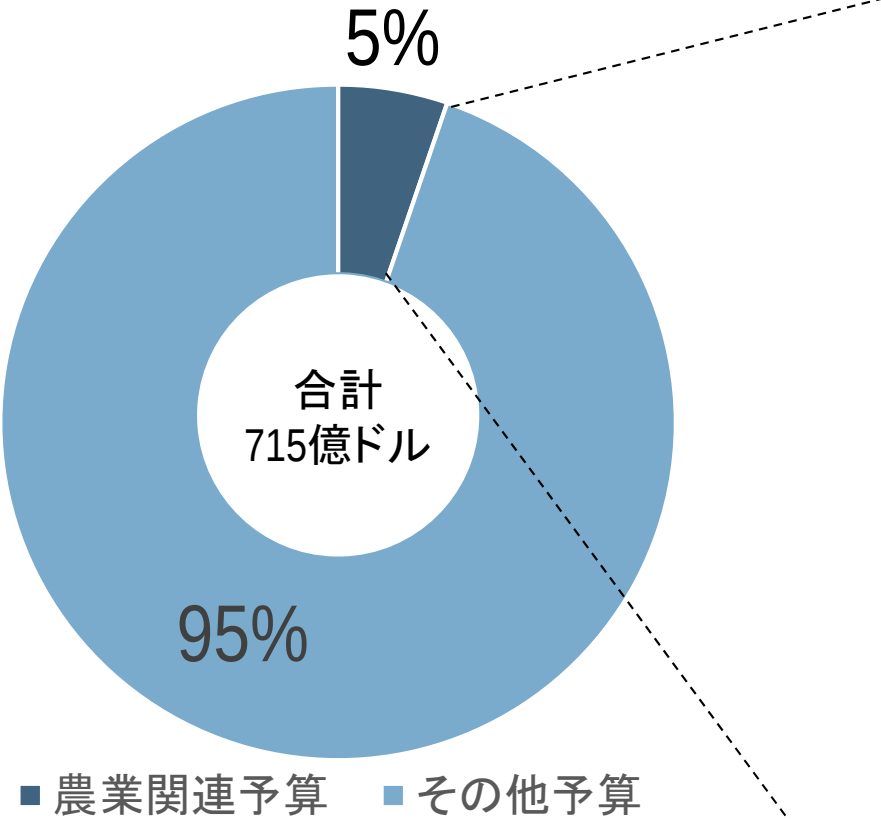
- 中小企業の貢献の割合を対GDP比20%から35%に上げる
- 石油・ガス部門におけるサウジ人率を40%から75%に上げる
- 失業率を11.6%から7%に下げる
- 女性の労働参加率を22%から30%に上げる

アクションプラン

- 官民パートナーシップを推進し、政府の不動産保有を資本化するなど、国内外の投資家のビジネス環境を改善する
- ジーザン経済都市などの経済都市の復興
- 物流、観光、工業、金融などの経済特区を設立する
- 個人投資家を誘致し、所有と外国投資の制限を緩和することで小売部門を強化
- 港湾、空港、道路、鉄道の建設に多額の投資を行い、地域の物流ハブを構築し、地域(GCC, 湾岸協力会議)統合を促進する

政府は合計715億ドルの予算を計上し、
そのうち37.5億ドルは農業活動に計上されている

サウジ国家変革計画（NTP2020）で定められている農業関連活動の予算の割合と主な内訳項目



取り組み	合計費用* (USD million)
農業市場（青果、畜産、水産）の 開発と管理を行う会社の設立	345.50
サウジ南西における農業台地の 再生と雨水採集技術の適用	183.91
零細農家や生産者にマーケティング 支援を提供するセンターの設立	179.25
果物、野菜、畑作物の生産性を向 上させる農業慣行の開発	134.33
漁獲量向上の応用研究支援	13.50
漁師を支援する沿岸地域の漁業 施設の開発と改修	6.48
農業分野における下水処理水の 活用	0.02
農業目的でのダム水の利用	-

*5年間にわたって政府予算が充当される

サウジアラビアは、資源の集中が少ない農業の振興に重点を置いており、食品加工分野の促進と輸出の拡大を目指している

重要政策

バリューチェーン		重要政策	影響
投入		- 農業目的での水資源の利用を減らす - 国境を越えた獣医疾病や農業害虫の蔓延の監視と管理	主要資源の最適な利用
輸出	国内	- 国の重要資源保護のため、水を消費する作物(小麦、大麦、米など)の生産を減少させる - 家禽、肉、水産業に重点を置いて食料安全を達成する	戦略的な国内生産
	海外	「サウジ農業海外投資政策へのアブダッラ国王の取り組み」のような制度を通じて食料安全保障を維持するためにサウジアラビア国外に投資する	サウジ国外の投資に重点を置く
加工		- サウジの食品製造加工部門の設立を促進して地元の食品供給業者を開発する - 外国資本100%によって食料生産施設の設立が可能になった	現地製造と食品加工の促進
貿易	輸出	- GCC諸国との輸出を増加させる自由貿易協定 - ただし、小麦(小麦粉)や大豆、コーンの輸出は禁止	GCC諸国との輸出の増加
	輸入	ハラール証明書、衛生証明書、原産地証明書、ホルモン不使用条件などの多くの証明書による食品の輸入に関する厳しい規制を維持する	イスラム法のガイドラインに沿った厳格な規則の維持

サウジの小売業と卸売業では外国資本による100%出資が許可されている

小売業と卸売業

- ・ ライセンスはサウジアラビア総合投資院によってケースごとに受理、発行されている
- ・ 現在、3つのライセンスが多国籍大企業に授与されている

ライセンス獲得要件

将来義務

- ・ 非サウジ企業は労働社会発展省(Ministry of Labour and Social Development)が規定するサウジ人比率を達成し、サウジ人が最初の五年間で重要な立場を得ること、そして彼らの継続雇用を可能にする計画を策定、実行しなければならない
- ・ 非サウジ企業は、サウジアラビア総合投資院からライセンスを取得した日から、最初の5年間にわたり、初期資本金3000万リヤルを含め、2億リヤル(5330万USD)以上の投資を約束しなければならない
- ・ 非サウジ企業は、最初の5年間に以下の条件の1つ以上を満たす必要がある
 - 販売製品の30%はサウジアラビアで製造する必要がある
 - 総売上高の5%以上をサウジアラビアでの研究開発費に投資する
 - サウジアラビアに物流施設とアフターサポートセンターを設立する

その他

- ・ ライセンス企業は、現金資本を最低3000万リヤル(800万ドル)有する必要がある
- ・ 非サウジ企業は、少なくとも3つの国際市場で事業を行う必要がある
- ・ 法人は、有限責任会社または外国企業の支店として設立することができる
- ・ 毎年最低30%のサウジ人社員が訓練を受ける必要がある

サウジアラビアにおいて外国企業が直接投資を行うためには、以下の手続きを行う必要がある

ライセンス取得手続きの流れ(概要)

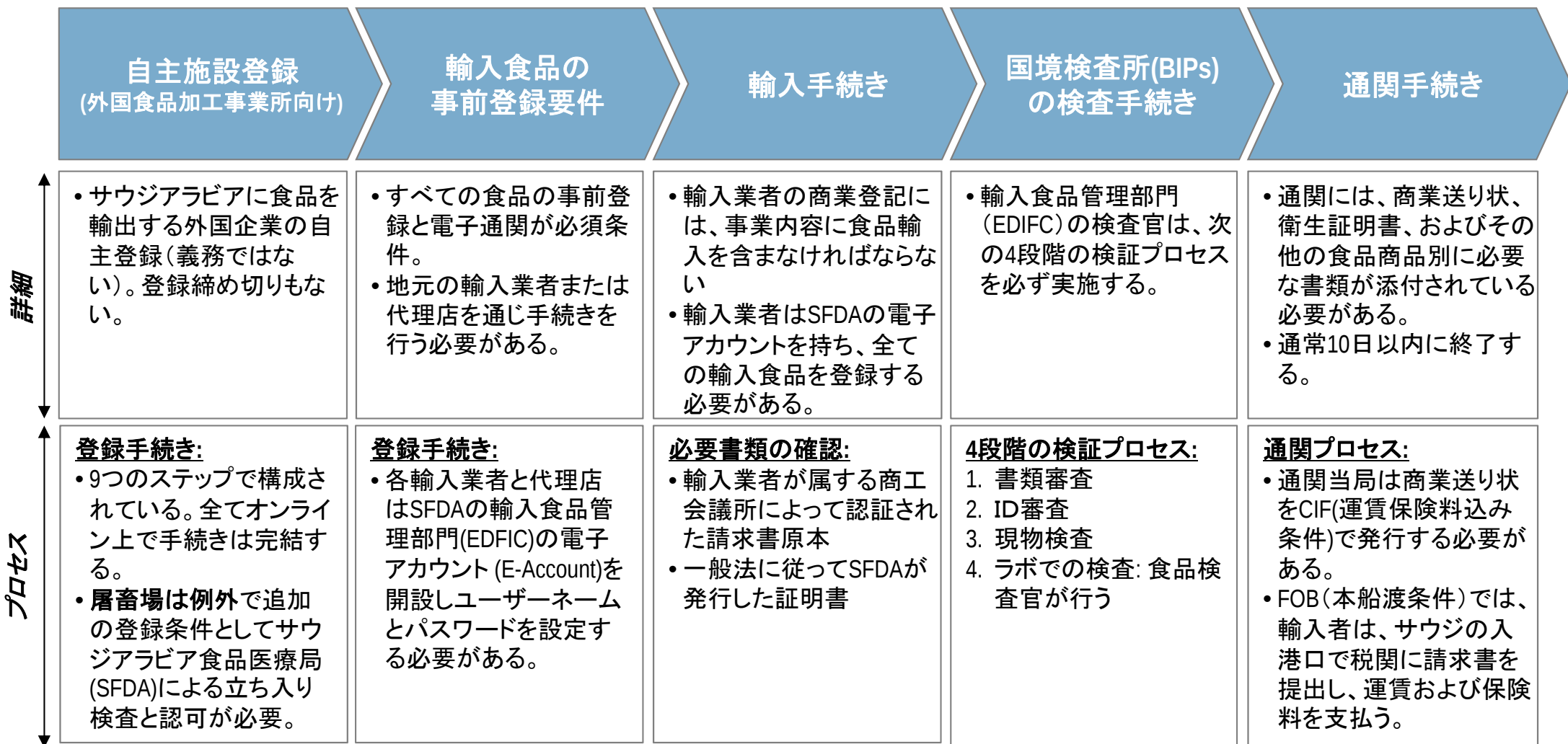
1	2	3	4	5
投資ライセンス及び 商業登記	用地確保に係る ライセンスの取得	製造・販売製品の仮登録	労務ガイドラインの承認	製造・販売製品の 最終登録
- サウジアラビア総合投資院 (SAGIA)を通じて外国投資ライセンスを取得 (本社の商業登記、過去の財務諸表およびオンラインフォームのコピー等が求められる) - 上記外国投資ライセンス取得後、商業投資省を通じて商業登記を行う (定款の認証や資本金の払込等の手続きが必要となる) - 植物工場など、農業に関係する場合は、外国投資ライセンス取得前に、MEWAからの事前承認が必要である。 - 国内の経済や国民に何らかの大きなインパクトを与え得る場合には、別途承認が必要となるケースがある	工業団地を利用する場合には、商業登記後、各工業団地の管理組織とのリース契約を締結する(MODON、Royal Commission、King Abdullah Economic City等)	- 販売、製造する製品等については、サウジアラビア SFDAにて仮登録を行う必要がある - 取得手続きはオンラインで行うことが可能。これまでに取得したライセンスや申請フォーム等を提出し仮登録を行う	労働者に適用される会社ガイドラインを提示し承認を得る	- 製造工場等を設立した後、サンプル製品をSFDAへ提出 - SFDAでの検査終了後、販売ライセンスが発行される (ライセンス申請には責任者のコンタクト情報、商業登記、契約書類等が必要)
所要日数※ ~ 1 day	所要日数※ 申請内容に因る	所要日数※ ~ 2 days	所要日数※ ~ 2-3 days	所要日数※ ~ 10 days

注1) ステップ1・2・4は、輸出入の場合は適用外となる。

注2) 手順やリードタイムは、特別な食品(例えば、エネルギードリンク、栄養バーなど、人体への影響について議論の余地のある成分が含まれている可能性のある品目)を除いて、すべての食品で同一。特別な食品の場合は、成分の複雑さに応じて所要日数が変わることがある

サウジアラビアは輸入、通関手続きに5つのステップがある

輸入プロセス



サウジは主要食品にGCC(湾岸協力会議)共通の5%輸入関税を課している

輸入関税の構造と税率

- サウジアラビアはGCC共通の外部関税5%を輸入製品のほとんどのに適用している
- 共通関税の例外は以下の通り
 - 補助輸入関税 - GCCが承認した例外として、サウジアラビアの758品目が輸入免税されている
 - 追加輸入関税 - 地域産業に有利な特定の製品の輸入関税を引き上げており、食品または農産物の現地生産が自給率水準を超える場合、最大輸入関税率は40%の従価税が適用される

Sr. No.	食品項目	輸入関税	理由
1.	一般的な食品	5%	GCC共通関税
2.	生鮮 / 乾燥加工ナツメヤシ	40%	地域産業支援
3.	小麦粉	25%	地域産業支援
4.	家禽輸入	20%以上または1SAR(US\$ 0.27)/1kg	
5.	ソフトドリンク	50%	健康に有害
6.	シガレット、タバコ製品、エネルギー飲料	100%	健康に有害
7.	砂糖、紅茶、米、小麦、コーヒー豆と肉	0%	
8.	米、ベビーミルク、家畜飼料 (大豆油かす、飼料トウモロコシ、大麦、コメ、ソルガム、パーム核ミール、小麦ふすま、アルファルファ、干し草、サトウキビ糖蜜、米ぬか、ヒマワリ粉、オートムギ、カノーラミール、魚粉、アルファルファペレット、大豆殻、ヒマワリ殻、米ぬか)	補助優遇	

食品規格は、SFDAおよびSASOの公式ウェブサイトで定期的に更新される

輸入規制(続き)

Sr. No.	原材料 / 製品項目	ガイドライン	標準規格
8.	食料油脂に含まれる食品添加物	許可添加物の指定やその品質、ラベルの監督	- SSA No. 106/1978 - GSO No. 2233/2012
9.	糖尿病患者のための特別配合食品	‘特定の食事用もしくは糖尿病用食品’の記述	-
10.	乳化剤、安定剤および増粘剤	ラベル要件: 一般名もしくはEEC番号	GS No. 381/1994
11.	飼料用の梱包前食品	ラベルに“人間の食用に適さない”もしくは“動物飼料用”の記述	GSO No. 9/2013
12.	アフラトキシン	食品および動物飼料への許容量の上限規制	GS No. 841/1997
13.	放射能	食品への許容量規制	GS No. 988/1998
14.	農薬およびその他の汚染物質	- 使用許可のある農薬のリストと食品、農薬物及び動物飼料に含まれる残留農薬量の上限 - 食品内の残留農薬制限に対する取り扱い承認手順 - 食品内の残留農薬基準値に対する必須遵守	- GS No. 382/1994 - GS No. 422/1994 - GS No. 357/1994 - GS No. 841 - GS No. 357 - SFDA Guidance No. 3965
15.	ベビーフード	年齢制限、表示仕様、成分指示	SSA No. 676/1992

サウジアラビアの税関では製品登録と市場用項目別証明書が必要

輸入証明書

	証明書	適用項目	標準規格	関係機関
一般 商品別適用項目	製品登録 証明書	- サウジ向け食品輸出外国企業の登録: ✓ 会社、本社、生産情報、食品安全衛生管理システムに関する外国企業の自主登録 - 食品および飼料登録: ✓ すべての輸入食品・飼料について電子通関が必須 - ハーブ食品の登録とライセンスの手続き: ✓ ハーブの調製、健康食品、サプリ食品はサウジで販売するためのライセンスを得るための登録とテストを受ける必要がある	SA9019	- SFDA - Ministry of Health - Ministry of Commerce and Industry - General Directorate of Medical and Pharmaceutical Licenses
	衛生証明書	- 肉(生鮮/冷凍)および家禽(商品): ✓ 屠畜日、種類、平均年齢、屠畜前12時間以内の検査、「病気なし」免許、血統証明書 ✓ HACCPに基づき品質管理がなされている屠畜場の証明書 - 青果物: ✓ 害虫・昆虫の混入、病気、放射線による汚染がないこと、 - 野菜(植物)原材料(および製品): ✓ 遺伝子組み換え食品の場合、食用・飼料用消費が認められている原産国の政府機関から植物検疫証明書が発行されていること	- Ministerial decree(省令) number 2436 - GSO 9:2013	- 原産国 - SFDA/MEWA(環境水産農業省) - 輸入国
	ハラール 屠畜証明書	- 家畜および家禽製品: ✓ 年齢および部位のガイドラインに基づく。雄の肉のみ許可 - チーズ(および製品):動物由来のレンネット(チーズの凝固材)が含まれている場合に必要	- SSA 630/1990 - イスラム法	輸出国のサウジ大使館認定のイスラム・センター
	動物飼料/ ホルモンフリー	肉(生鮮/冷凍)および家禽(商品)	2001 Meat import regulations	- SFDA - MOCI*

食品を輸入または国内で生産する際には、GSO基準に基づくハラール規制に準ずる必要がある

サウジアラビアにおける食品のハラール基準は、GSOが規定する以下の基準に準拠する。

	Code	Title	Summary
(1)	GSO 993:2015	“Animal Slaughtering Requirements According to Islamic law” (イスラム法に基づく動物の屠畜に関する要求事項)	屠殺対象動物はイスラム教徒が食することを禁じられていない動物(豚のほか、犬、ロバ、象、ライオン等の肉食の動物等も、禁止であることが明記されている)でなければならず、屠殺時にはアッラーの名を唱える必要があること、頸動脈を正面側から切断することにより屠殺すること(頭部の殴打や窒息死等の方法は禁止)等が規定されている。
(2)	GSO 2055-1:2015	“Halal Food - Part 1 - General Requirement” (ハラール食品ー第1部・一般要求事項)	- アルコールを始めとする、禁止された(ハラールでない)食品のリストが掲載されており、また、食品の受入れ、加工、パッキング、ラベル貼付、輸送、保管、陳列、ハラール食品の提供等のハラール食品の一連の工程では、イスラム法のルールに基づいて進められる必要があること等が規定されている。 - 例えば、ハラール食品でない動物や食品を加工した器具・設備とハラール食品の加工に用いる器具・設備は完全に分ける必要があること等が規定されている。

食肉の輸入

- 食肉については、ハラール規制に準じた屠畜・加工が必要であり、SFDAに登録された屠畜場からのみ輸入が可能である。屠殺場がハラール規制に準じているかの認証は、ハラール認証機関としての認定を受けた専門機関が行うものの、SFDAへの登録のプロセスにおいて、SFDA自身も現場視察を行う。
- 国内の養鶏場や牛舎で使用される飼料も、ハラール規制に対応する必要がある。
- なお、魚介類は食肉には該当せず、ハラール規制の対象外だが、国内の養殖場で使用する飼料を輸入する場合、ハラール規制に対応している必要がある。

加工食品

- 国内の食品工場は、SFDAがサイトならびに商品を検査し、認証する必要がある、アルコールと食肉が成分として混入しうる商品については、検査の過程で、ハラールの観点での検査が行われる。
- 加工食品の輸入の際は、成分にアルコールが混入する可能性がある商品、食肉を含む商品は、ハラールの観点での検査が行われる。第3国でのハラール認証は不要であり、取得していたとしても、SFDAが検査を行う。

1	サウジアラビア王国における農水産業の概要
2	農水産業におけるサプライチェーンの概要
3	農水産業関連政策・規制の概要
4	日本企業にとっての事業機会 (インタビュー及び調査結果からの考察)

現地調査で政府関係者から寄せられた、日本への期待

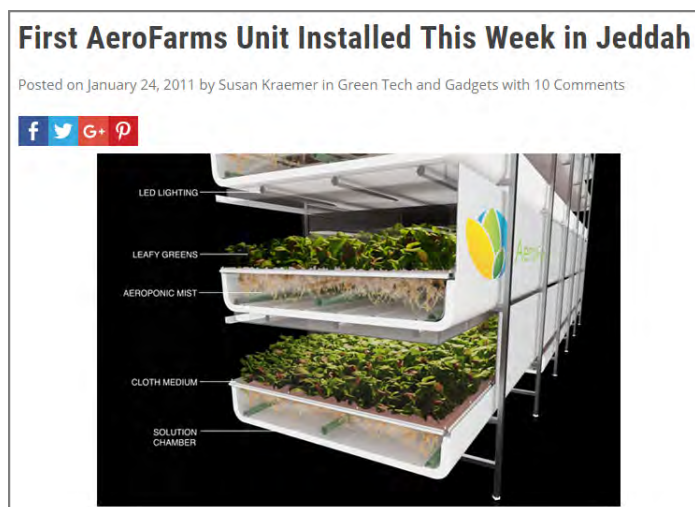
農水産業における政府の期待事項

- High
サウジアラビア政府の期待
Low
- ① **植物工場 (水耕栽培やグリーンハウス等)**
 - これまでの農業地帯以外での農業促進が政府にとっての喫緊の課題
 - サウジアラビア東部において、地下水の掘削及び農業用水としての活用に関する実証試験を実施中
 - ② **農業用水管理**
 - 農業の生産性向上の一つとして、節水や再利用水技術への関心が高い
 - ③ **有機農業**
 - サウジアラビアは有機農業プロジェクトに重点を置いている。付随して、バイオ肥料需要の増加にも期待を示している
→ドイツ国際協力公社(GIZ)は、サウジアラビアの有機農業計画の設計に積極的に関与
 - ④ **山岳部や棚田を活用した農業**
 - 山岳地帯を利用した農業への関心を示している
 - 4地域で実証事業を開始すべく、実現に必要な技術要素等の研究・特定を行っている(農業用水供給システム等)
→米国企業がMEWAIに対し研究支援に対するオファーを行っている
 - ⑤ **その他**
 - **農地の有効活用** – 小麦の国内生産停止に伴い発生する遊休農地等の有効活用に関する検討を実施中。政府は既に農地の一部をソーラーファームに転換することを検討
 - **害虫の駆除** – Red Bamboo Weevil (ゾウムシの一種)による被害の防止
 - **デーツ鮮度保持技術** – 完熟デーツ(ドライにする前)の鮮度保持技術

水耕栽培はサウジアラビアの農業中でも注力分野の一つと言われている

植物工場 – 現状

- サウジアラビアで植物工場を運営する企業は殆どが外資系の企業 例: Pegasus Agri-tech, Aerofarms, etc.
- 2011年には米国企業がジェッダに植物工場 (AeroFarms) を設置 (左下図)
- 2014年にはUAEのPegasus Agritech社がサウジアラビア初の水耕栽培を行う植物工場を設置
 - 設備規模: 20,000 sq.m.
 - 生産キャパシティ: 1haあたり1,400トン/年
- 2017年段階では、内外問わず多くの企業が植物工場の建設を行っていると言われている



Aerofarms is one of the leading vertical farming companies



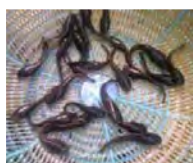
輸入品のフルーツマトやイチゴ、水耕栽培やオーガニックファーム産のレタスの値段は、日本の植物工場で生産した場合と比べて同程度か高価

野菜・果物の販売価格例

競合商品	販売店	価格
オランダ／モロッコ／レバノン産 フルーツマト	ハイパーマーケット(リヤド市内)	900-1,000円/kg
トルコ産トマト	アルコバール中央市場(東部州)	450円/2kg
	ハイパーマーケット(リヤド市内)	300円/kg
サウジ産トマト	アルコバール中央市場(東部州)	450-540円/5kg
	ハイパーマーケット(リヤド市内)	180-270円/kg
サウジ産水耕栽培レタス	ハイパーマーケット(リヤド市内)	210円/1玉
オーガニックファーム産レタス	ハイパーマーケット(リヤド市内)	390円/1玉
サウジ産レタス	アルコバール中央市場(東部州)	450円/kg
ドイツ産レタス	ハイパーマーケット(リヤド市内)	1,500円/1玉
米国産／ドイツ産イチゴ	ハイパーマーケット(リヤド市内)	450円/250g
		690円/454g

水産業は未熟な市場ではあるものの有望な分野の一つ

水産業における事業機会



稚魚育成、飼料

1. 稚魚市場

- KSAには稚魚サプライヤ（シーバスとシーブリーム）が2社のみで、彼らに依存せざるを得ない状況

2. ふ化施設

- KSAには、商業用ふ化施設が無い

3. 飼料

- ARASCO（国内）が輸入に依存せざるを得ない状況

漁獲・養殖

1. 沖合いけすによる養殖

- 紅海では環境配慮型の設備を要求

2. RAS*を活用した内陸養殖

- KSA内で検討・開発中
*循環ろ過養殖方式

3. 遠洋（深水部）漁業

- 遠洋（深水部）に適した漁船が不足

加工

1. 高付加価値化

- 現状の加工・包装設備は単純加工のことが多い
- 付加価値向上に資するアップグレードが必要

物流

1. コールドチェーン

- “インフラとしてのコールドチェーン”はほぼ未整備
- 政府はコールドチェーンを整備するために海外からの支援を期待

市場（国内外）

1. 国内

- 魚食に対する市場が育っていない

2. GCC各国

- UAE等での需要の拡大

3. 海外（輸出）

- ポテンシャルの高い欧州、北アフリカ（モロッコ、タンザニア）市場

事業機会は分野ごとにあるものの、課題は競争環境やリスク、コスト高騰等。技術導入が現実的な方法と考えられる

水産養殖のバリューチェーン別事業機会・課題と現実味

分野	事業機会	課題	実現可能性	現実味のある代替案
稚魚・ふ化施設	地場企業による寡占状態、需要は伸びている	新規参入すれば地場の独占・寡占企業との競争になる	新規は△	既存企業への技術導入
飼料	地場企業による独占状態、需要は伸びている	新規参入すれば地場の独占企業との競争になる ハラル対応	新規は△	既存企業への技術導入
養殖	養殖に適した気候 需要増	既存業者との競争 日本との気候の違い 投資コストが大きい 病気リスク	新規・単独は△	現地パートナーへの技術導入なら可能性あり(日系企業の前例あり)
加工	需要増	材料となる安価な魚の仕入れ、人件費の高騰	水産量、人件費高騰の折、新規は△	既存の養殖場にラインを設ける際の技術導入、機器納入
コールドチェーン	未開発であり、政府が力を入れたい分野	大口顧客となるはずのメーカー・代理店大手が内生化してしまっている	サードパーティーは△	必要となる機器のメーカー・代理店への納入(日系企業の前例あり)

健康食品への関心が高まっており、需要が急増している この機を捉え、一部の日本企業も取組みを開始している

市場概況

- サウジアラビア国民の健康食品への関心と需要がここ数年で急激に高まっている
 - 「チアシード等いわゆるハイパーフードの販売が、ここ数年毎年倍々ゲームで増加している。」
(食品貿易業インタビュー、Foodex Saudi 2017にて)
 - 「健康・保健カテゴリーの食品の販売が、2011年から2016年にかけて、年率9%のペースで伸びている。」
(Euromonitor, “Health and Wellness in Saudi Arabia” Jun 2017)
- サウジアラビア政府の長期目標である「サウジ・ビジョン2030」ならびにその関連プログラムにおいて、戦略目標として下記が含まれている。
 1. その戦略目標の一つに予防・治療を含むヘルスケアサービスの品質の向上
 2. 肥満率の低下

関連する日本企業の取組み

- ダイエットに効く健康(機能性)食品
 - オリゴノール® (アミノアップ化学)
地場の大学と共同で臨床実験を実施。今後地場の代理店を通じて販売展開の準備中。
 - 稀少糖(松谷化学工業)
代理店を設定、この1月にMOUに署名。



<http://www.afpbb.com/articles/-/3135307>



<http://raresugar.co.jp/>

NRI

未来創発

Dream up the future.